



陣内後 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2017年10月 - 12月号

Vol.40

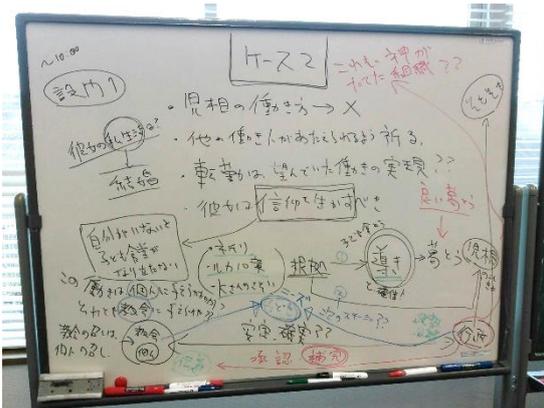
よにでしセミナー2017 in 伊勢志摩

支援者の皆様、いつもお祈りと尊いご支援を心より感謝します。

11月3～4日、伊勢志摩海浜センター（三重県）において、「世にあって弟子として生きる社会人のための週末合宿」（通称よにでしセミナー）を、日本ローザンヌ委員会後援・FVI主催で開催しました。講師2名（土島氏と私）、全国からの10名の参加者の12名で、濃密な学びのときを持ちました。

「ケープタウン決意表明」には、「教会や伝道に携わる仕事だけが神の働きではなく、職業そのものが神の召しであり宣教なのである」という、クリスチャン社会人に「聖俗二元論からの脱却」を促すメッセージが記されていますが、現在日本国内に「職業そのものが神の働きである。そのために互いの信仰や職業技術を研鑽し合う」といった包括的宣教パラダイムに基づく会合、集会の数は多くは見つかありません。「ならば、自分たちでやろう」ということで開講に至りました。少人数制でインタラクティブ（対話的）なこのセミナーでは講師は教えず「結論が得られるというカタルシス」を意図的に避けます。架空のケースの主人公について小グループおよび全体で討議するなかで「認知的コンフリクト」が引き起こされ、その後一人ひとりが職場に戻って時間が経過したときに、「揺さぶられた安定（信念）がもういちど違う形に再構築される」という「動的な学習過程」がこのセミナーの狙いです。

「よにでしセミナー」は来年以降も、場所を変えながら継続して開催していく予定です。世にあってキリストの弟子として生きる社会人が、「世の光、地の塩」として職場や職域、社会全体に浸透した結果、御国が来ますように、皆様にもお祈りいただけましたら幸いです。



埼玉のぞみチャペル 20周年「愛の種まきプロジェクト」

10月19日～11月22日の約1ヶ月、埼玉県戸田市の埼玉のぞみチャペルの「教会創立20周年」の取り組み「愛の種まきプロジェクト」にご協力させていただきました。プロジェクトチームの方々と共に、FVIのメッセージである、「包括的宣教」と「小さな愛の行動」を軸として、1ヶ月をかけて教会のメンバーが周囲の家族、地域、職場、学校、世界の人びと、さらに被造物に対して（大きなことではなく）「小さな愛の種」を蒔くことで神の御心を行い、キリストの似姿に変えられていこう、ということを目指し、共に実行させていただきました。今回、特に印象に残ったことが二つありました。

一つ目はこれまでできなかった「被造物に対する神の御心を現す」という「被造物ケアの視点」を導入したことで、たとえば「地球環境に配慮している製品を購入する」「動物に対して優しさを示す」などの、いままで「それが神の働きだとは考えてもいなかった」ことが、聖書的な宣教の働きの一部なのだ、ということを知り、目からウロコが落ちるようだった、という感想を多数いただきました。

二つ目は今回、1ヶ月間、毎朝教会メンバーに届けられた「愛の種まきメールマガジン」に、私も「Q&A

コーナー」の著者として参加させていただいたことです。これによって、実際に取り組むなかから湧き上がる質問にお答えすることができ、その中から「やはりこれは本質的な取り組みなので1ヶ月で終わってはいけません。今後もやりつづけたい。」という意見が立ち上がり、また来年以降も教会が「包括的宣教」に参画していくための、後方支援を続けさせていただき導きが与えられました。

何よりも教会メンバーの方々がワクワクしながら神の宣教の働きに参加するのを見るのは私にとって大きな喜びであり特権でした。皆様のお祈りに感謝いたします。



教会の壁に貼られた数多くの「小さな愛の実践」が、やがて実を結び、街を変えていきますように、。

40歳になる。

●FVI 創立から7年、「あの決断」から10年の節目

お読みいただいているこの「陣内俊プレイヤーレター」の初号（vol.0）をお送りしたのは2008年3月のことです。その号には「私がなぜ公務員を辞めて宣教の働きを始める決意をしたのか」という理由が記されています。そのレターには、「イエスの愛を具体化する『神の国の大使』が、社会のあらゆる場に遣わされる」ことに貢献したいという熱い情熱が記されており、「タラントとして神から与えられた人生を意味のあることのために使う」という願いと、神からの導きが記されています。今10年ぶりに読み返すと当時30歳だった自分の青臭い情熱に触れくすぐったいような気持ちがします。

あれから10年が経過し、11月に私は40歳になりました。

2008年以降、私は海外に行き世界の路地裏や農村部で暮らす貧しい人々と話をしました。また、もし公務員を続けていたら出会わなかった多くの人びとと出会って友人になりました。もし公務員を続けていたら出会わなかった妻と出会って結婚し、また神の許しのなかで大きな病気になり、2年間の療養をし、神の憐れみと皆様の祈りによって働きに戻り、現在を生きています。

今回のプレイヤーレターで「よにでしセミナー」や「愛の種まきプロジェクト」の働きをご報告しながら、10年経った今も私は「初めの情熱」を保ち、それを少しずつバージョンアップさせながら続けてこ

られたことを再認識し、感慨を抱きました。このような「信仰によるベンチャー」を10年間続けてこられたのは神の恵みですし、皆様のお祈りとご支援の賜物です。改めて心より感謝を申し上げます。これからも「働きのパートナー」である皆様と共に、この時代に神の御心を推し進める働き手として用いていただきたいと願っています。

今後もお祈り、ご支援をいただけましたら幸いです。

●娘・かなえの献児式

40歳の誕生日の翌週、第一子のかなえの「献児式」が12月3日に練馬グレースチャペルで行われました。神から「一時的に預かった命」を養育していく責任と特権を新たにする幸いなときでした。



9～12月の活動報告

皆様のお祈りに支えられ、各地で奉仕させていただきました。関係者各位に心より感謝します。南浦和バプテスト教会（9月3日）、武蔵野福音自由教会の礼拝で奉仕（9月24日）、10月22～11月19日埼玉のぞみチャペルの「愛の種まきプロジェクト」をリソース面でサポート（10月～11月）、世にあつて弟子として生きる社会人のための週末合宿（11月3～4日）、本郷台キリスト教会にて第8回FVI総会（10月30日）、ICBC（11月5日）、練馬グレースチャペルで協力牧師としてメッセージや牧会協力（9月～11月）

メッセージ「超要約」

「老いるとは何か？」 主題箇所：詩篇90篇10～12節

2017年11月26日、練馬グレースチャペル主日礼拝にて

日本は現在、「世界でもっとも高齢化した国」のひとつであり、「老い」は現在も近未来も、私たちの社会が考えるべき大きな課題です。十数年前、現在70代後半のアメリカ人である私のメンター、ボブ・モフィット師が私にこう言いました。「今の世界でサタンが流している最も悪質な嘘は、『若さを賛美することだ。若いことは若くないことより優れている、というこの嘘のせいで、多くの人々が年を重ねることの祝福も、成熟することの幸いも喜べなくなってしまうている。』」

聖書には歳を重ねることの積極的な意義が記されており、120歳まで生きたモーセの人生から私たちは多くを学ぶことができます。モーセは40年のエジプトでの知的な訓練、40年のミデヤンの荒野での人格と信仰の成熟によって整えられ、私たちの知る「公生涯」においてイスラエルを導く「ロールモデル」として生きました。年を重ねることによって、私たちはロールモデルとして若い世代を導く「長老という教会の宝」となるとジェームズ・フーストン師は指摘していますし、ポール・トゥルニエという精神科医は「人生の四季」という本の中で、「老いること」によって私たちは人生の四季を味わい、豊穡で彩りに満ちた形で神を知るようになる、と指摘しています。モーセは詩篇90篇で「自分の目を正しく教えることを教えてください」と祈りました。マハトマ・ガンジーが言った、「明日死ぬかのように生き、永遠に生きるかのように学べ」という言葉はひとつの示唆を与えます。私たちは「明日死ぬかのように使命を果たし」、「永遠に生きるかのように学ぶ（神を知る旅を歩む）」のです。

祈りの課題

- ◇純子の授乳トラブルの解消ため（乳腺炎を何度も繰り返していますので、完全に癒やされるように）。
- ◇2018年もさまざまな働きが予定されていますので、体調が守られて働きを全うできるように。
- ◇「陣内俊を支える会」の支援者・協力者が加えられるように。事務局の移動（愛知から東京へ）が予定されています。移行がスムーズに進み、働きが安定して支えられるように。

2018年の予定

月 日	内 容	場所、補足
2月18～21日	FVI 役員会／執行役員会議	万座温泉ホテル（群馬県）
3月後半	教会訪問と各地での奉仕	関西・西日本方面（調整中）
6月25～28日／9月中旬	FVI 執行役員会（Captain's Table）	万座温泉ホテル（群馬）
9月25～28日	DNA Asia Gathering	マレーシア
9月30日	礼拝奉仕とメンタルヘルスに関するセミナー	久遠キリスト教会（杉並区）
11月23～24日	よにでしセミナー第二期 in 札幌	芸森スタジオ（札幌市）
未定（調整中）	海外パートナーの訪問	インド
随時継続的に	FVI の各種活動	国内各地

* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」
陣内への Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

- * 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- * 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- * Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。